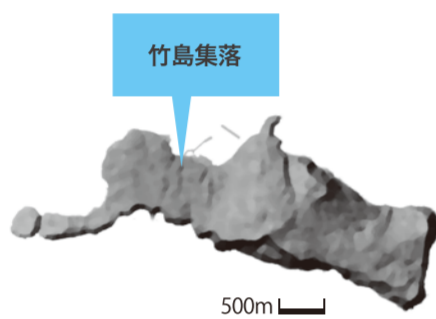




9



竹島地区六〇代男性

「中学生のときにつくった五〇年前の面が黎明館（鹿児島県歴史資料センター）にあります。面をつくる時、生の竹の骨組みを干すか火で炙って油を飛ばします。紙を貼り易くするためです。高面は頭頂部が先細りなので、上方へ輪にした横材を徐々に小さくしてゆきます。下から上にとどの大きさの輪を、いくつ入れるか、この調整にコツがいります」

思い出話

旧暦八月一日・二日に行った竹島の祭。花笠をつけた鐘打ちを中心に、小太鼓を胸に抱いた踊り子が輪になって踊る。鐘打ちと太鼓打ちは、太夫の家で着替え、鐘打ちを先頭に出発する。【右下写真】次に太鼓打ちが縦一列に続き、大夫家、庄屋家、聖神社など五ヶ所で踊った。この日、青年は高面という面をつけ、太鼓打ちの移動中に竹藪から出現して、子供や好きな娘を追いかけた。祭りは過疎で度々途絶え、今は暫く行っていない。

竹島

八潮踊り・高面

日	月	火	水	木	金	土
1 旧 8/3	2 旧 8/4	3 旧 8/5	4 旧 8/6	5 旧 8/7	6 旧 8/8 ●上弦	7 旧 8/9
8 旧 8/10	9 旧 8/11	10 旧 8/12	11 旧 8/13	12 旧 8/14	13 旧 8/15	14 旧 8/16 ○満月
15 旧 8/17	16 旧 8/18 敬老の日	17 旧 8/19	18 旧 8/20	19 旧 8/21	20 旧 8/22	21 旧 8/23
22 旧 8/24 ●下弦	23 旧 8/25 秋分の日	24 旧 8/26	25 旧 8/27	26 旧 8/28	27 旧 8/29	28 旧 8/30
29 旧 9/1 ●新月	30 旧 9/2	1	2	3	4	5